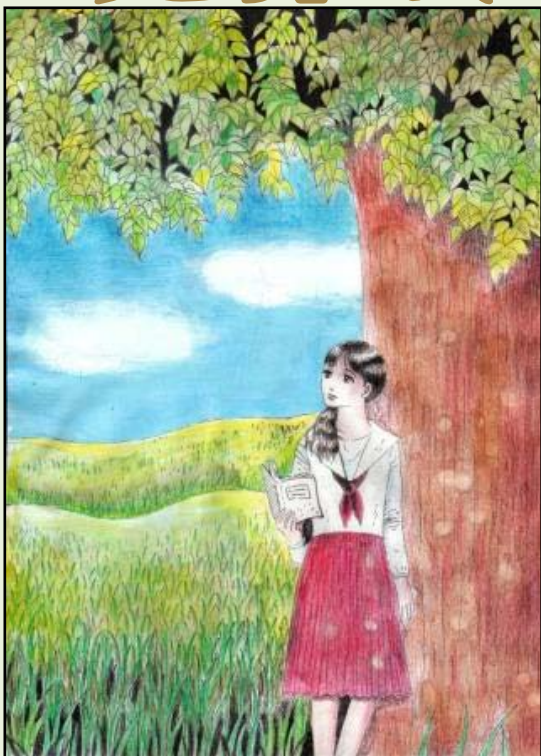


福岡県立図書館

青少年コーナー

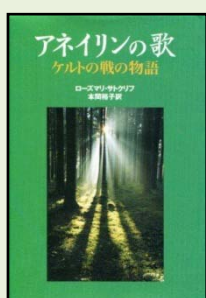
「みどり」の本



五月のおすすめ

全て貸出しできます。
借りられていたら予約
も受け付けています！

新緑の輝く季節となりました。そこで今回は「緑」をキーワードに本を紹介したいと思います。
まずは「見た目」から…というわけで、表紙が鮮やかな緑の



『アネイリンの歌』

ケルトの戦の物語』

ローズマリ・サト克利夫 著

小峰書店 F/S313/7

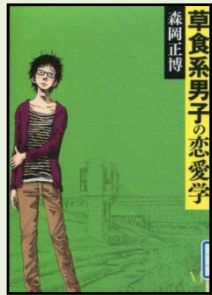
7世紀、ケルト人とサクソン人がせめぎ合うブリテン島(現在のイギリス)。ケルト人は劣勢を挽回するため、各氏族の子弟を集めた精鋭部隊「輝ける同胞隊」を編成しました。この物語の語り手である少年プロスペアは、敬愛するゴルシン王子の従者として共に過酷な訓練に耐え、大きく成長していきます。やがて、「サクソンの首都急襲」の命が下り、遂に戦いが始まるのですが…。

現代に伝わるケルトの叙事詩「ゴドデイン」を元に書き下ろされた物語です。



さて、一冊目はかなり「熱い」青少年たちの物語でしたが、

最近増えていると言われるのが「草食系」男子。



『草食系男子の恋愛学』

森岡 正博 著

メディアファクトリー

152/1/59

「恋愛に積極的でない」「繊細で自己主張が強くない」という「草食系男子」。この本の著者はそんな彼らを「新世代の優しい男性のことだ」と言います。

多くの女性にモテる方法ではなく、好みの一人の女性と親しくするには。そして「いい人」で止まらず、その女性と互いに理解し、尊敬し、深く愛し合えるようになるには、どうすればいいのか。著者の実体験を交えながら、解説しています。

「草食系男子」の対義語は「肉食系女子」。では、その中間は…「肉食植物」？ と言えば「し」でしょう。



『大好き、食虫植物』

育て方・楽しみ方』

星野 映里 著

水曜社 627/5/135

ハエトリソウ、ウツボカズラ、モウセンゴケ…。恐ろしいイメージのある食虫植物ですが、実はとても可愛らしく、美しく、そして繊細なのです。

全くの初心者だった著者が、ミクシイで知り合ったベテランたちのアドバイスを元に、様々な食虫植物を育ててみました。「溶けた!」「煮えた!」「過労死!」などなど、多くの失敗談と共に育て方を紹介、彼らの魅力を語ります。

食虫植物は温室育ち…という場合が多いですが、次の本の「温室」はもっと身近で、とても過酷な環境です。



『温室アイズ』

瀬尾 まいこ 著

角川書店

9/425/5

中三の二学期。授業中なのに、おしゃべりが続く。お菓子を食べている。紙飛行機が飛ぶ。先生もそれを本気で止めようとはしない。このまま行けば、クラスの崩壊は明らかだった。

みちるは何とか立て直しを図ろうとクラスメイトに呼びかけるが、全くの逆効果。反感を買い、執拗なイジメが始まった。親友の優子はその状況に耐えられず、別室登校をすることに…。

だが、二人はあきらめてはいなかった。まだ何かできることがある。この「温室」を少しでもまともにするために。

この本で「温室」とは学校のことでしたが、その国語の授業に必ず出てくるのが文学の名作ですね。『羅生門』『走れメロス』『山月記』などなど。



『三色ボールペン名作塾』

齋藤 孝著

角川書店

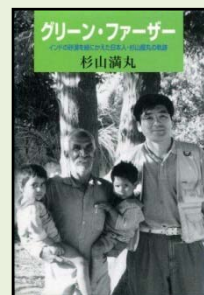
910/26/1185

何十年たっても読み継がれ、感動を与える名作文学。それをもっと自分の心の中に引き込み、多くのことを感じ取って、しかも他の人に説明することができるようになる…そんな読み方がこれ、「三色ボールペン方式」です。

読んでいて、重要と思ったところに青、とても重要と思っただところに赤、そして、おもしろいと思っただところに「緑(！)」で線を引きます。ただし、この方法、図書館の本には使わないでください。図書館の本は書き込み・線引き厳禁です！

この福岡県でも多くの名作が書かれています。その一つに『ドグラ・マグラ』があります。その作者である夢野久作

(本名・杉山直樹)の息子、杉山龍丸は、農業技術者としてインドで活躍し、「グリーン・ファーマー」と呼ばれました。



『グリーン・ファーマー』

杉山 満丸著

ひくまの出版

289/13/364

イギリスの植民地支配に苦しむインドの独立のため、戦前から多くの日本人が力を尽くしてきましたが、独立後、インドを襲った新たな脅威に立ち向かった男がいました。

その脅威とは、砂漠化。雨も降らず、大地が乾き、作物がとれずに大飢饉が続くのです。ガンジーの弟子たちによってインドへ呼ばれた農業者、杉山龍丸は決意しました。砂漠を緑の森に変えるのだ、と。

知恵と真心の限りを尽くした龍丸の植林事業は、やがて実を結び…。

今回は、以上六冊を紹介しましたが、いかがでしたか？これ以外にも「緑」の本はたくさんあります。ぜひ、御利用ください。「青少年と暮らしの交流室」(青少年コーナー)でお待ちしております。